



小浜西組町並み協議会 21年度 第6回役員会報告

日 時：平成22年3月18日（木）午後7時30分～午後10時

場 所：鹿島 町並み保存資料館

出席者：役員21名のうち、出席15名により、会が成立

1、会長挨拶の後、議長に野村事務局長が就き、議事進行

2、市からの報告

(1) 住宅用火災警報器の共同購入について（吉村消防署長）

平成23年5月31日までに住宅用火災警報器の設置が義務付けられている。自主防災組織の立ち上げ等も考えられていることから、ぜひ共同購入をお願いしたい。説明等が必要である場合には足を運ばせていただく。

(2) 伝統的建造物の特定解除について

2月18日に発生した火災により、滝野氏所有の伝統的建造物3棟(主屋・付属屋・土蔵)が被災した。専門家に現地を見ていただき、付属屋・土蔵は修復不可能であるため、伝統的建造物2棟の特定を解除した。

主屋は修復可能であったが、所有者の意向等も踏まえ、3月5日に審議会を開催し、特定解除に承認いただき、主屋の特定を解除した。

(3) 平成22年度補助事業物件について

来年度の補助事業は5棟の実施を予定している。町並み保存資料館の奥にある土蔵も修理予定であるため、今後、皆さんに相談させていただく。

(4) 小浜ウエスト物語2010について

2月16日に準備委員会を立ち上げ、小浜西組地区内でギャラリーやフェスティバルの実施に向けて、協議を重ねている。開催場所であるため、協議会の皆様には、色々ご協力をお願いしたい。

3、議 題

(1) 小浜西組自主防災組織設置の件（山田理事より説明）

- ・11月の第4回役員会に自主防災規約案を提出し、審議してもらった。その際の意見を取り入れて、少し修正し、今回再提出した。
- ・災害時の初期活動、避難所への誘導などは、各区自主防災組織があたるので、当防災会は、各区自主防災組織と協力し、その活動を支援する立場で事業を行う。

*役員会として規約案を承認した。さらに総会で説明し、承認を得たあとで、市に提出することにした。

(2) 活性化部会報告（佐野庶務より報告）

- ・一門一灯運動の行灯製作は、今年度182個製作予定のところ、138個完成している。残りについても近日中に製作する。
- ・「通り名称」看板が7枚できたので、取り付けを、近日中におこないたい。

(3) ウエスト物語（まちなかギャラリー・コンサート）の件（佐野庶務より報告）

- ・現在、実行委員会を立ち上げて、計画を練っている。実行委員会には、町並み協議会ははじめ、数団体が入っている。春と秋にイベントを開催するが、春は5月22日～6月20日を予定している。
- ・会場は、西組地区の数ヶ所が予定されており、ギャラリー、フェスティバルを通じて重伝建地区の歴史や町並みを多くの方に理解していただくことが目的となっている。
- ・開催期間中の会場の管理人を募集しなければならないが、町並み協議会の方々にも是非ご協力をお願いしたい。

*澤口会長より「大勢の方々に西組に来てもらう良い機会なので、協議会としても協力をしたい。期間中の管理人募集は、各区の理事さん中心にお願いしたい」との発言があった。

(4) 「丹後街道町並み散策案内所」設置の件（澤口会長より報告）

- ・飛鳥区の新美氏宅の建物の修理工事が一応済んだ。
- ・今後は、「丹後街道散策案内所」として、観光案内、みやげ物販売所兼協議会事務所として運営していく。大島久男氏に運営責任者となってもらう。

(5) 災害見舞金の件（澤口会長より提案）

- ・今回の鹿島区滝野氏の火災について、協議会として、いささかでも見舞金を出したいと提案。

*協議の結果、「小浜西組町並み基金」より、見舞金を支出することにした。

通り名称看板設置について

活性化部会長 佐野 達也

小浜西組町並み協議会の活性化部会では21年度の事業として、「一門一灯」と「通り名称看板の設置」の2つが大きな事業でした。

1つ目の「一門一灯」はおかげさまで地区の皆さまにご好評いただき、引き続き22年度も行っていきます。

2つ目の「通り名称看板の設置」は年度末ぎりぎりになってしまいましたが、西組内の7カ所に設置を完了いたしました

この事業は、西組内に既に設置してありました「後瀬山歴史街道」の標柱が老朽化してきたこと、西組マスタープランにもあるように、昔の通り名称を次世代へ語り継いでいき、また、住民の方や観光客の方にもわかりやすくしていこうというねらいで、名称を「丹後街道」にし、実施いたしました。

設置された看板のうち、鹿島区の吹安さん前から大原区の野瀬邸前までの6か所は「丹後街道」とし、三丁町の元検番（現在は若廣さん）前の一つだけは「三丁町」としました。

看板の上部には西組のロゴをレーザーで彫ってもらいました。また力強く立派な墨字は大原区の岩崎さんをお願いいたしました。

今まで建っていた鉄製の標柱に、上から木板を張り付けた物ですが、厳しい予算のところを皆さんにご無理をお願いし、設置することができました。

このようにご協力をいただいた皆さんで手作りした看板ですが、木を上手く使ったため温かみがあり、古い町並みにマッチして、思っていた以上の物が出来たのではないかと我ながら喜んでおります。地区の皆さまも通りがかりにお時間がありましたら、是非ご覧ください。

22年度もマスタープランをもとに、出来ることから少しずつ取り組んでいきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



この程設置された通り名称看板



佐藤和男さん
(飛鳥区)



小浜西組町並み協議会の大島顧問が担当している町並み散策案内所に、^{たけがみ}竹紙と^{たけみで}竹筆が置いてあります。その製作者である飛鳥区にお住まいの佐藤和男さん（60歳）にお話を伺いました。

— 竹紙と竹筆を作ろうと思われたきっかけをお聞かせください。

佐藤さん：「私と竹紙と竹筆の出会いは2年ほど前、小浜に移り住んでから、一滴文庫で竹紙と竹筆の製作の体験をしたことから始まりました。それ以来一滴文庫の工房をお借りして製作しています。」

— 佐藤さんは昨年、絵画の個展をされましたね。見せていただきました。抽象的で私にはよく理解できなかったのですが・・・。

佐藤さん：「見ていただきましたか。ありがとうございます。絵は40歳のころから描いています。あの絵は竹紙を画材として使っています。私が表現しようとする世界と、竹の紙に感じるものがあり、気に入っています。」

— これからどのように活動していきたいと思っていますか？

佐藤さん：「難しい質問をいただきました。私自身の志の問題ですが、自分自身の感性を^{みが}研ぎ、感動するものができたらいいなと思っています。竹紙造形では中に光を入れたり、木や竹に貼り付けて壁掛けにしたりインテリアとして使えるようなものができたらよいですね。」

佐藤さんの所へお伺いしている間にも、観光客が工房を覗いて写真を撮ったり、竹筆や竹紙の買い物をして出ていかれました。佐藤さんにお会いした時は、芸術家らしい雰囲気（とっつきにくい）方のように見受けましたが、意外と親しみを感じる笑顔が素敵な方でした。



販売されている竹筆の一部

小浜西組町並み協議会からの

●活動報告とお知らせ●

- 町並み保存資料館では、4/22（木）～5/10（月）の間、「五月人形と小作品展」を行います。お気軽にお越しください。
時間：午前9時～午後5時（火曜日休館）



- 補助事業で家屋の修理が行われていた飛鳥区の今嵐様宅が完成し、“cafe いまあらし”として5月3日（月・祝日）オープンします。和の空間で炭火コーヒーが楽しめるそうです。



- 小浜ウエスト物語2010（5/22（土）～6/20（日））が開催されます。会場当番をお願いできるボランティアの方がなってきます。実行委員から声がかかりましたらご協力よろしくお願いします。

- 小浜ウエスト物語2010のオープニングセレモニーが、5月22日（土）午前9時から八幡神社にて行われます。小浜小学校6年生が小浜26区の歌を合唱、テープカットなどが行われます。多くの方のお越しをお待ちしています。

